

平成
16年度

決算を認定

平成16年度桐生市歳入歳出決算及び桐生市水道事業会計決算を、それぞれ賛成多数で認定しました。また、平成16年度新里村歳入歳出決算及び新里村水道事業会計決算、合併前の平成17年度新里村歳入歳出決算及び新里村水道事業会計決算、平成16年度黒保根村歳入歳出決算及び合併前の平成17年度黒保根村歳入歳出決算も、それぞれ賛成多数で認定しました。同決算の認定にあたっては、監査委員による監査報告後、各会派の代表が総括質疑を行うとともに、3つの決算特別委員会を設置し、4日間にわたり慎重に審査を行いました。総括質疑における、主な質疑に対する市当局の答弁は次のとおりです。

平成十六年度の 財政状況は

答弁 平成十六年度決算の実質収支比率は、一般的には三パーセントから五パーセントまで程度が望ましいとされる中、四・二パーセントであり、その範ちゅうとなつてゐる。經常収支比率は、平成十五年度と同じく八十九・四パーセントとなつたが、これは県内他市と比較しても同程度ではあるが、今後は市税など一

第四次総合計画の 進ちよく状況は

般財源の急激な増額が見込まれないため、人件費などに占める経常的な経費を削減しない限り指数の悪化が想定されるので、さらなる行財政改革による改善が必要と考えている。

答弁 桐生市第四次総合計画は、基本構想を具体的に推進するための基本計画として四百七十三項目の施策があり、実現に向けて鋭

意努力しており、担当課の自己評価では、大方の施策が概ね計画どおり進ちよくしている。

地場産業活性化の 取り組みは

答弁 近年の繊維業界は高齢化や後継者難、売上や受注の停滞・減少、輸入品との競合などの問題があり、情報収集、商品企画、販売力の強化などが重要な課題である。その中で、外国で開催される見本市や展示会への支援、国内においては需要開拓や販路開拓につながる各事業への支援を通じて、活性化に取り組んでいる。

子育て支援の 取り組みは

答弁 育児相談の各関係機関との連携については、情報の共有化を図り、子供にとって一番良い支援を優先して相談にあつたっている。乳・幼児にかかわる相談は、

主に健康課を中心として医療機関や母子保健推進員、民生委員児童委員、保育園などと連携し、小・中学生については、教育委員会にかかわる機関と連携して、適切な支援に努めている。

新里地区の 道路の整備は

答弁 新里地区の道路は千六百六十六路線あり、その中で土地改良整備地区内の路線では舗装工事などが遅れている。平成十六年度の実績では、改良工事三十四か所、維持補修工事など三十九か所を行った。今後も予算の範囲内で、利用度や地元の要望などを考慮しながら、改良工事を行つていきたい。

黒保根地区の 防災行政無線は

答弁 昭和六十三年・平成元年度に設置した黒保根地区防災行政無線施設は、老朽化が進み、平成十六年度は、移動系携帯無線機十六台と固定系野外受信装置十三か所のバッテリー更新などを行った。なお、戸別受信機については、故障の

申し出により随時対応している。

錦桜橋供用開始の 効果は

答弁 錦桜橋が三月に完成したことで、交通渋滞が緩和され、国道一二二号線や伊勢崎方面から中心市街地への利便性が高まり、歩行者などの通行の安全が確保され、景観上も優れているので、桐生市のイメージアップが図られたと考えている。

入札制度の改善は

答弁 予定価格の公表は非公表だったものが事後公表となり、平成十六年四月から事前公表となるなど制度を大幅に改善した。入札制度については、国や他の自治体を参考にしながら、今後必要必要な改善は行つていく。

人事案件

市議会は、人事案件一件に同意しました。

収入役

高野 喜 昭 氏
(再任)

主な議案

この定例会で、可決された主な議案の要旨は、次のとおりです。

桐生市公設地方卸売市場条例の一部を改正する条例案

原案可決(全員賛成)

概要

卸売市場法の改正に伴い、卸売市場における品質管理の徹底、卸売業者の事業活動に関する規制の緩和、卸売業者・仲卸業者の経営改善などの推進を図るため条例の一部改正を行うもの。

施行日

平成十七年十二月一日

請願の審査結果

請願第二十号

件名

義務教育費国庫負担制度の維持に係わる意見書採択についての請願

結果

採択(全員賛成)